

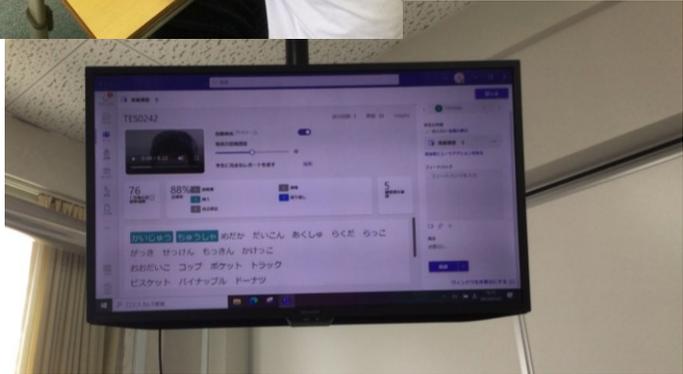
# 特別支援学級ICT活用実践事例

【タイトル】 パラパラまんがを作ろう

教科	図画工作	単元	パラパラまんが
活用するアプリ	KOMA KOMA×日本文教出版	活用する場面	導入 ・ 展開 ・ まとめ
<b>児童の活動</b> 友達に少しずつ動いてもらい、一つずつ静止画を撮る。撮影した物を連続して見せることで、つながりのある動画をつくる。そして、それを鑑賞する。			<b>授業の様子（写真・参考資料）</b> 
<b>実践内容（教師の支援）</b> なめらかな動きにしたいときと、速い動きにしたいときの違いを説明しておく。			
<b>活用の効果</b> アナログのパラパラ漫画とは違い、一定のリズムで動き、リピート再生されるので、2枚の静止画でも動いているように見える。絵が苦手な児童も取り組みやすい。			
<b>活用時の留意点</b> 画面の説明をする。最大99枚撮れる。			

【コマ送りの写真を撮っている児童】

**【タイトル】 小さく書く字に気を付けて読もう**

教科	自立活動	単元	拗音、促音の練習
活用するアプリ	Teams	活用する場面	導入 ・ <b>展開</b> ・ まとめ
<b>児童の活動</b> 拗音や促音の入った言葉の音読をTeamsを使用して録音、採点する。発音や読み方の正確さを確かめ、正確な発音を身に付けるように練習する。			<b>授業の様子（写真・参考資料）</b>  
<b>実践内容（教師の支援）</b> 操作方法をしっかりと説明し、採点の見方や練習のポイントについて一人一人アドバイスをする。			
<b>活用の効果</b> タブレットを使用することで、繰り返し集中して練習することができた。正確さが数値化されるので成果が分かりやすく意欲的に取り組むことができた。			
<b>活用時の留意点</b> 数値に固執せず、落ち着いて活動できるように、採点の見方や練習のポイントをきちんと伝えておく。			
教材等保存場所	Wordの原稿は教師用端末		

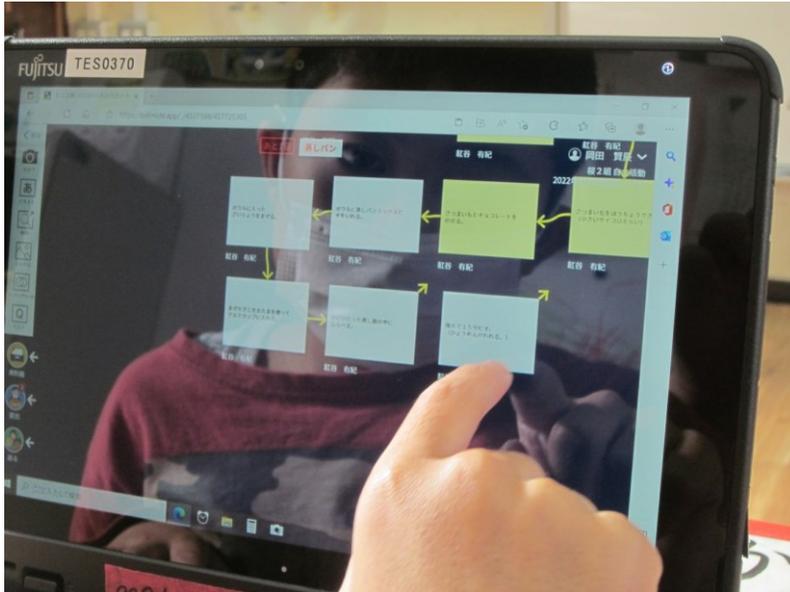
**【録音、採点する児童】**

# 【タイトル】接写クイズをつくろう

教科	自立活動	単元	清愛園と交流しよう
活用するアプリ	Power Point	活用する場面	導入・展開・まとめ
<b>児童の活動</b> 身近な学用品を接写と全体が分かる写真2枚撮影し、Teams上のPower pointに、各自が問題と解答のスライドを作成する。スライドは、清愛園との交流会で、各児童がタブレットを操作して問題や解答を提示した。			<b>授業の様子（写真・参考資料）</b> <div data-bbox="1625 491 2400 1206" style="border: 1px solid blue; padding: 5px;"> <p>なまえ これはなんでしょう</p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>①けんばん</li> <li>②つみき</li> <li>③ドア</li> </ul> <hr/> <p>せいかいは</p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>①けんばん</li> <li>②つみき</li> <li>③ドア</li> </ul> </div>
<b>実践内容（教師の支援）</b> レイアウトをあらかじめ用意し、児童はその中に写真を挿入したり、文字を入力したりするようにする。			
<b>活用の効果</b> 写真の撮り方を工夫したり解答の選択肢をよく考えたりして、スライドづくりができた。			
<b>活用時の留意点</b> zoomで相手方に提示できず、カメラ撮影で提示した。			
教材等保存場所	新黒板→学年部→桜組		

【児童の作品】

## 【タイトル】調理実習の手順を確認しよう

教科	生活単元学習	単元	調理実習
活用するアプリ	ロイロノート	活用する場面	導入 ・ 展開 ・ まとめ
<b>児童の活動</b> ばらばらになった調理実習の手順を正しく並び替える。	<b>授業の様子（写真・参考資料）</b> 		
<b>実践内容（教師の支援）</b> 作り方どおりのところは白いノートにし、自分たちの工夫が分かりやすいようにアレンジしたところ（トッピング）は黄色のノートを使った。			
<b>活用の効果</b> 調理実習の手順を主体的に考えたり、確認したりすることができた。また、自分が頑張るところや挑戦したいところを見付けられた。			
<b>活用時の留意点</b> ノートの枚数が多くなると難しくなるため、児童の実態に応じて枚数を変えると良い。また、全体を見るためには文字が大きい方が分かりやすい。			

【調理過程を並び替えている児童】

## 【タイトル】他者紹介をしよう

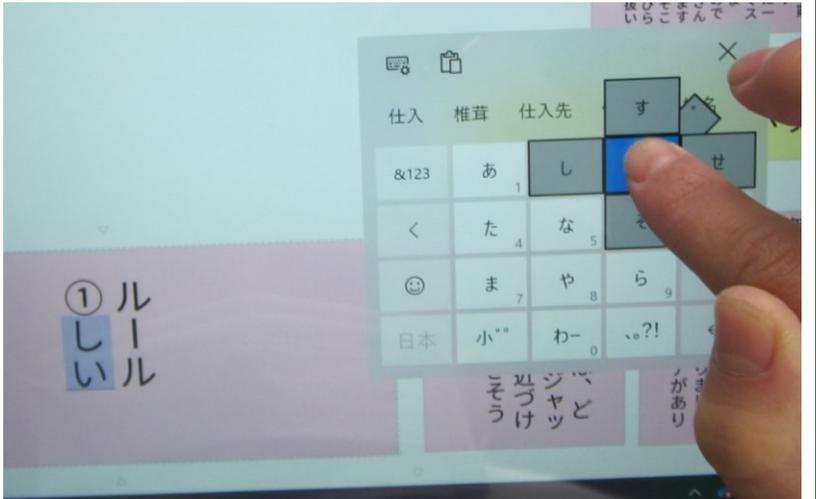
教科	自立活動	単元	同じクラスの友達を知ろう								
活用するアプリ	ロイロノート	活用する場面	導入 ・ 展開 ・ まとめ								
<b>児童の活動</b> 友達の顔を撮影して、ノートに貼り付ける。そして、友達にインタビューして、表に入力する。最後に他者紹介をする。			<b>授業の様子（写真・参考資料）</b>    ○年 なまえ  <table border="1" data-bbox="1651 806 2382 1056"> <tr> <td>好きな たべもの</td> <td>たまごやき</td> </tr> <tr> <td>同じところ</td> <td>かおのかたち</td> </tr> <tr> <td>ほしいもの</td> <td>チョコレート</td> </tr> <tr> <td>がんばりたいこと</td> <td>ボール遊び</td> </tr> </table>	好きな たべもの	たまごやき	同じところ	かおのかたち	ほしいもの	チョコレート	がんばりたいこと	ボール遊び
好きな たべもの	たまごやき										
同じところ	かおのかたち										
ほしいもの	チョコレート										
がんばりたいこと	ボール遊び										
<b>実践内容（教師の支援）</b> インタビューで分かったことはプリントに記入させ、キーワードだけ入力するように伝える。写真の貼り付けや文字の入力の方法を教える。他者紹介の話型のワークシートをつくり、それを見て言いながらロイロノートを操作させる。											
<b>活用の効果</b> キーボード入力ができない児童も手書き入力ができ、他者紹介ができる。自己紹介ではないため緊張感が少なく、また、友達の発表を聞こうとする態度が高まる。											
<b>活用時の留意点</b> 質問事項を自分たちで考えると、よりおもしろい他者紹介になる。			<b>【児童の作品】</b>								

## 【タイトル】 テストを自分でしよう

教科	自立活動	単元	識字に困難がある場合
活用するアプリ	グーグルレンズ	活用する場面	導入・ <b>展開</b> ・まとめ
<b>児童の活動</b> 振り仮名を付けただけでは、テストの問題を理解することが難しく読み上げが必要な児童に有効で、テストやプリントの問題を読むときに利用する。			<b>授業の様子（写真・参考資料）</b> 
<b>実践内容（教師の支援）</b> グーグルレンズで問題文を写真で撮るときにうまくテキスト化できるように教師と一緒に撮る。問題文にも一応振り仮名を付けておき、変換ミスを補うようにする。			
<b>活用の効果</b> いつもは教師が付いて読み上げをしないとイケないが、ある程度一人で取り組むことができる。文章を打ち込まなくても写真で撮って使用できるので、時間短縮であり、実用的である。			
<b>活用時の留意点</b> 学校のタブレットでは今は使用できないが、家での学習やこれからの自立に向けて有効である。			

【読み上げ機能を使う児童】

## 【タイトル】文字を入力しよう

教科	総合的な学習の時間	単元	みんなにやさしいわたしたちのまち
活用するアプリ	ロイロノート	活用する場面	導入 ・ 展開 ・ まとめ
児童の活動	授業の様子（写真・参考資料）		
実践内容（教師の支援）	フリック入力で文字を入力し、グループで一つの新聞をつくる。 フリック入力の画面がじゃまになるときには、その画面を動かす。		
活用の効果	フリック入力の仕組みを教え、入力したい文字が何行にあるのかを指導しておく。キーボードから外して使うようにする。		
活用時の留意点	支援を受けなくても友達と同じように新聞をつくることができたという達成感や満足感が得られる。フリック入力ができるようになると、手で書き込めない場面でも文字の入力ができる。		
			
	【フリック入力する児童】		

## 【タイトル】清愛園とボッチャをしよう

教科	自立活動	単元	交流会をしよう
活用するアプリ	zoom	活用する場面	導入 ・ 展開 ・ まとめ
<b>児童の活動</b> オンラインでボッチャを行った。相手側の玉が落ちた位置を聞いて映像で確認し、手元にあるカードに玉を置いてゲームを進めた。相手のビンゴを防ぎつつ、自分たちがビンゴになるよう、ねらう位置を考えて玉を投げ、ゲームを楽しんだ。			<b>授業の様子（写真・参考資料）</b>  
<b>実践内容（教師の支援）</b> ゲームが円滑に進むように画角を考えて撮影をする。			
<b>活用の効果</b> 離れた相手と一緒にゲームをしながら交流している実感を持つことができた。			
<b>活用時の留意点</b> 開始前にカメラのセッティングを行う。ホスト先の不都合でうまく接続されないときがあるので、いつでも連絡できるようにする。			
			<b>【ウェブ会議システムで交流する児童】</b>